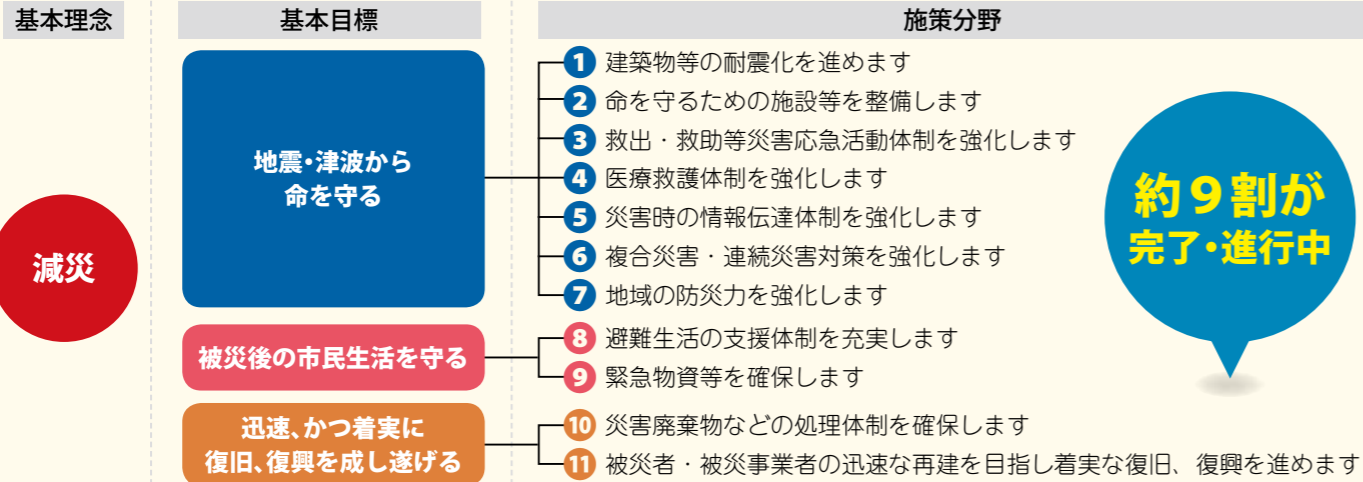


「地震・津波」に備えて

焼津市地震・津波対策アクションプログラム2014 問合せ 防災計画課 TEL 625-0128 FAX 625-0132

焼津市は約15.5kmの海岸線を有しており、昭和51年に発表された東海地震説以降、さまざまな防災対策を行ってきました。

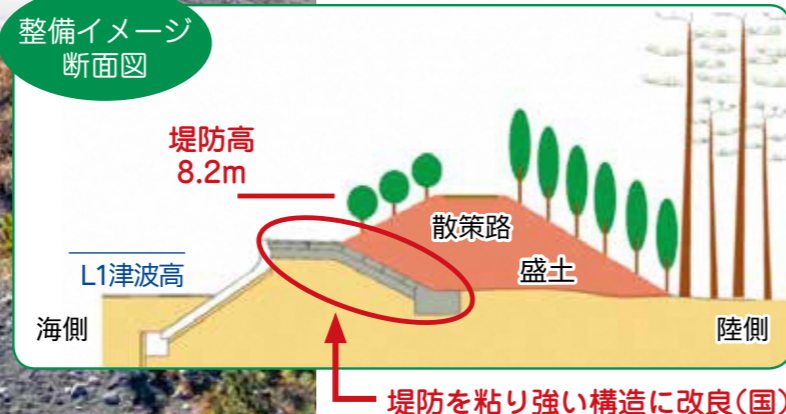
平成25年度に策定した「焼津市地震・津波対策アクションプログラム2014」では、ハード（施設や設備、機器など形ある要素）とソフト（人材や技術、意識など無形の要素）の両面を組み合わせ対策の充実・強化することにより、想定される被害をできる限り減らす「減災」を基本理念としています。今後も市民生活を守っていくため、各アクションを確実に進めていきます。



海岸への対策 潮風グリーンウォークの整備推進

問合せ 河川課 TEL 626-1118 FAX 626-9416

潮風グリーンウォークは、国が既存海岸堤防を改良して補強を行い、市が堤防陸側に高盛土と植樹を行うものです。最大クラスの津波や高潮からの被害を軽減させるとともに、盛土天端に散策路の整備を進めています。



焼津漁港の防災・減災対策

問合せ 漁港振興課 TEL 626-1192 FAX 626-2194



静岡県では、焼津漁港の津波対策として、漁港背後地の人命・財産を津波から守ることはもとより、漁業・水産業の継続性を確保して経済被害を回避するため、防波堤の改良工事や胸壁の整備等を進めるとともに、港口水門の検討を並行して進めています。

▶ 防波堤の改良工事

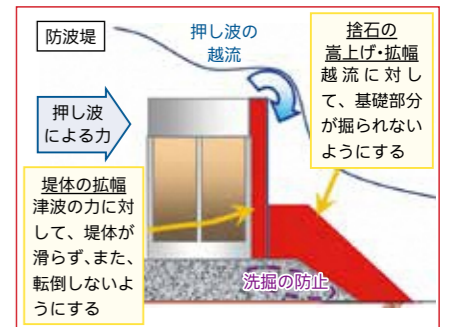
焼津外港南防波堤など焼津漁港の沖にある防波堤の「粘り強い構造への改良」工事を行っています。令和2年2月末までに焼津外港南防波堤（全長1,968m）のうち1,237mの施工が完了しています。

▶ 胸壁の整備

焼津内港と小川内港の周囲に胸壁を整備します。胸壁上端の高さは海拔3.5m、地面からの高さは1.5～1.8m程度となります。令和元年度より、焼津内港は焼津外港入り口側、小川内港は石津海岸側から整備に着手しています。

▶ 港口水門の検討

港口水門の事業化に向けた検討を行っています。港口水門は、焼津外港と小川外港の港口への整備を想定しています。



粘り強い構造のイメージ（防波堤）



胸壁の整備（小川内港）

大井川港の胸壁整備

問合せ 大井川港管理事務所 TEL 622-1337 FAX 622-6841

大井川港の胸壁整備事業は、国の交付金事業を活用して、地震による津波（レベル1）と高潮の災害から、背後地における住民・企業の皆様の生命・財産・産業活動を守る、安全な海岸づくりを推進するものです。既に整備されている避難タワーなどの利用と合わせて、災害に対する安全度をより一層高めることができます。胸壁整備は、大井川港の港口から二級河川志太田中川の河口までの約1.2kmの計画を立て、胸壁上端の高さは海拔6.5mから5.0mで整備を行っています。事業実施は、安全かつ円滑に進めるとともに、早期の完成を目指して進めています。

